

公表 保育所等訪問支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエブラッツ阿波座		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2026年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2026年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 6名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 12月 15日		～ 2026年 1月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	52名	(回答者数) 29名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性や環境を踏まえて多面的に評価し、専門性のある支援を行っています。訪問先からの満足度も90%以上と高いです。	作業療法士、社会福祉士、児童指導員など専門職を多く配置しているため、より専門的な視点での提案を行えている点が強みです。	事業所内だけでなく学校の先生や関係機関と連携し、統一した目標を掲げられるとより良いと感じます。
2	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものと86%の回答がありました。	訪問先の先生方にわかりやすく説明する事や負担なく使用できるものを提案するよう努めています。	提案したものが実際使用してみてどうだったか、うまくいかなければ違う提案を考える等より良い方法を探っていきます。
3	保育所等訪問支援を実施後に保護者へ口頭、またはメールでの連絡に加えて報告書を作成して共有しています。	保護者に訪問時の様子を伝達するだけでなく、書面での報告書を訪問先、保護者に毎回送付しています。	訪問支援と報告書を通して、保護者と学校の橋渡しを行い、こどもの支援に役立てたらと考えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援に使用する教具教材が統一されていないです。	個々の訪問支援員に任せているためばらつきがあるかもしれません。	適宜、事業所からの貸し出しを行なっています。また、良い教具教材があれば職員間で共有するようにしています。
2	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が少ない	毎回の訪問後には様子だけでなく、保護者にも助言をしていますが、伝えている保護者とそうでない保護者とばらつきがあるかもしれません。	2026.3月に進路説明会、保護者会を開催予定です。保護者同士の繋がりができたらと考えます。
3			